



▲全国の舞台では緊張することなく、日頃の走りを披露しました

三原特別支援学校高等部3年の杉井真実さんが、昨年10月に愛媛県で開催された第17回全国障害者スポーツ大会に広島県代表チームのメンバーとして出場し、陸上競技の400m走と800m走の少年の部で5位に入賞しました。中学2年生から、体力づくりのために毎日欠かさずウォーキングをしている杉井さん。続けているうちに脚力と

スタミナに自信を持ち始め、一昨年から陸上競技大会への出場を考えようになりました。初めて臨んだのは同年5月に開催された広島県障害者陸上競技大会。目標タイムは突破したものの、「まわりの選手が早かった」と悔しさが残りました。副担任の山崎めいさんは、「日課のウォーキングでついた脚力やスタミナが杉井さんの強み」である一方、「スピード調整などの課題があった」と話します。杉井さんはペースを把握するため、学校で毎朝行うランニングのタイムを記録。そこから目標となる具体的なタイムを導き出し、山崎さんの「スピードを上げよう」などの声掛けのもと、適度なペースを身に付けてきました。

そして昨年、再挑戦した同大会。400m走で自己ベスト1分18秒72を記録しただけでなく、大会記録も更新し、見事、全国大会への切符をつかみました。「山崎先生と2人で頑張ってきた結果。入賞もできてうれしい」と笑顔で話します。



STORY 23

## 若者 × 情熱 ミハラのチカラ

### 自慢の脚力でトラックを走り抜く

三原特別支援学校高等部3年

すぎい まみ  
杉井真実さん

卒業後は、市内の企業に就職が決まっている杉井さん。「持ち前のスタミナを生かして、仕事も頑張ります」と新たなスタートに向けて、一歩を踏み出します。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

## 朝日に染まる磨崖仏

くまのかずひさ

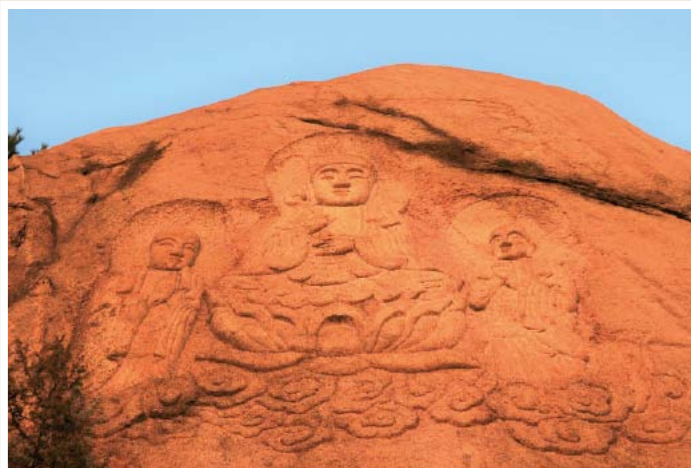
撮影エピソード

撮影者 熊野和久さん

白滝山山頂の磨崖仏。朝日の日差しで数分間だけ赤っぽく染まります。



●撮影年月 平成29年12月  
●撮影場所 龍泉寺(小泉町)



## 写真・絵を募集しています

### テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人  
**選考** 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 ㊚somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ